マテリアリティでつなぐ
価値創造と
サステナビリティ開示



価値創造と開示実務の架け橋を、ともに描く。

企業・機関投資家・保証提供者・研究者の視点から、
マテリアリティの統合的な理解と社内浸透を通じた実践を考えます。

2026 **11.26** 木曜日　13:30–17:00

法政大学 市ケ谷キャンパス　開場 13:00（予定）
ボアソナード・タワー26階 スカイホール

対面開催＋YouTubeライブ配信予定

参加無料

プログラム

全体司会：安藤 光展

13:30–13:40	**開会挨拶**
13:40–14:20	講演１　**「マテリアリティで経営を開く」** 國部 克彦（神戸大学）
14:20–15:00	講演２　**「マテリアリティの実効性を高める社内浸透」** 北田 皓嗣（法政大学）
15:00–15:10	**休憩**
15:10–16:10	**パネル報告**　各15分・4名を予定 吉丸 健一郎（JT）／大畠 彰雄（野村アセットマネジメント） 齋尾 浩一朗（あずさ監査法人）／中尾 悠利子（関西大学）
16:10–16:55	**パネル討議** 進行：國部 克彦 パネリスト：吉丸 健一郎、大畠 彰雄、齋尾 浩一朗、中尾 悠利子、北田 皓嗣
16:55–17:00	**閉会挨拶**

※講演の演題は仮題です。パネル報告の順序・内容は調整中です。

開催趣旨の全文・登壇者の正式な所属・肩書・プロフィールは裏面をご覧ください。

開催情報・申込開始のご案内
https://riim20261126.hosei-kyoiku.jp/
正式な参加申込方法は、後日ご案内します。

共催　法政大学イノベーション・マネジメント研究センター
神戸大学大学院経営学研究科ビジネス価値共創研究教育センター

開催趣旨

PURPOSE

サステナビリティによる価値創造戦略を示すためにマテリアリティを特定する実務が広く普及しています。一方、多くの企業がSSBJ基準対応で重要性／マテリアリティの判断基準に悩んでいます。この2つは、同じ言葉でも性格が異なります。

本シンポジウムでは、様々な考え方と企業実務を踏まえ、価値創造と開示判断のためのマテリアリティを統合的に理解し、社内浸透の視点も交えながら、サステナビリティ経営を推進する方法を検討します。

パネルディスカッションでは、価値創造型マテリアリティを活用している企業事例や、機関投資家や保証機関から見たマテリアリティの判断基準を議論して、新たなサステナビリティ経営の世界を切り開きます。

登壇者プロフィール

SPEAKER PROFILES

國部 克彦 講演・パネル進行

神戸大学大学院経営学研究科 教授
同ビジネス価値共創研究教育センター長

大阪市立大学助教授、神戸大学助教授等を経て2001年より現職。日本社会関連会計学会会長。主な著書に、『ハイヤーパーパス』（監訳、中央経済社、2025年）、『価値という思考』（神戸大学出版会、2024年）、『責任という倫理』（共著、ミネルヴァ書房、2023年）、『創発型責任経営』（共著、日本経済新聞出版、2019年）、『経営倫理からアカウンタビリティへ』（有斐閣、2017年）、『CSRの基礎』（共著、中央経済社）など多数。

北田 皓嗣 講演・パネリスト

法政大学経営学部 准教授
国連大学（UNU-FLORES）Adjunct Professor

専門はサステナビリティマネジメント。TC323 (Circular Economy)・PC343 (SDGs Management System)の国際エキスパートとして国際規格策定に参画。Global Circularity Protocol for Business（GCP）のTechnical Advisoryメンバー。企業の社内浸透に関する研究会を主宰。著書に『サステナビリティ戦略の実装』（共著、千倉書房、2026年）、『創発型責任経営』（共著、日本経済新聞出版、2019年）など。

吉丸 健一郎 パネリスト

日本たばこ産業株式会社（JT）
サステナビリティマネジメント部 部長

JTサステナビリティマネジメント部にて、非財務情報の活用高度化に向けたプロジェクトを担当。SSBJやCSRD等の法定開示対応に加え、人的資本や社会関係資本をはじめとする非財務要素と企業価値との関係性を可視化し、それらを経営判断に活用するための手法開発に取り組んでいる。

大畠 彰雄 パネリスト

野村アセットマネジメント株式会社
サステナブル投資戦略室長 兼
グローバルリサーチ部 企業調査シニアアナリスト

1998年より金融業界で日本株アナリストとして活動。2005年に野村アセットマネジメント株式会社へ入社し、エネルギー業界を中心に企業調査を担当。2024年にネットゼロ戦略室長、2025年にサステナブル投資戦略室長に就任。サステナビリティ関連業務を統括しながら、企業調査シニアアナリストも務める。

齋尾 浩一朗 パネリスト

有限責任 あずさ監査法人
サステナブルバリュー統括事業部
マネージング・ディレクター／公認会計士

2000年代に環境会計構築、CSR取組高度化支援に従事した後、2010年代は統合報告対応支援、マテリアリティ特定、価値創造ストーリーの可視化支援に軸足を移す。最近はサステナビリティ戦略と事業戦略との連動や社会的インパクトの可視化支援に従事しつつ、SSBJ（特にS1基準対応）にも従事している。

中尾 悠利子 パネリスト

関西大学 総合情報学部 教授

専門はサステナビリティ経営、AIによるESG評価、サステナビリティ情報開示。サステナブルファイナンス研究のアドバイザーや、日本社会関連会計学会理事などを務める。著書に『AIによるESG評価』（共編著、同文舘出版）など。

安藤 光展 全体司会

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター 客員研究員

専門は、サステナビリティ戦略、サステナビリティコミュニケーション。サステナビリティ・コンサルタント。武蔵野大学／非常勤講師・客員研究員。環境経営学会／理事。著書『サステナビリティ戦略の実装』など多数。